

令和5年9月2日（土）に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座」を開催しました。講座には46名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについて講義を聴いたのち、グループに分かれて「令和の町内会運営に向けて今できること」をテーマとしたワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和5年9月2日（土）14:00～16:00

場所：オンワード樫山仙台ビル10階ホール

参加者：46名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 酒本宏氏から、町内会の現状と課題から、令和の町内会運のヒントとなる3つのアクション「必要性を実感してもらう活動」「参加しやすい組織体制」「デジタル化による効率化と情報発信」について、効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、8グループに分かれ、「各世代のコミュニティのニーズ」を考えました。その後、「令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組み」についてアイデアを出し合いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。



ワークショップ全体のまとめ

● デジタル化は必要

- ・ LINEを使ったデジタル化（役員のグループLINEから）
- ・ デジタル化で役員の負担軽減が進んだ
- ・ 中学生や高校生に参画してもらう
- ・ YouTubeで活動をアップする（町内会の見える化）
- ・ 電子回覧板を推進する（LINEワークス）

● お祭り・イベントを通じて若い世代に参画してもらう

- ・ 子ども会とタイアップ・連携（グラウンドゴルフ・オセロ大会）
- ・ 各世代が集まる夏祭りを復活させたい
- ・ 連携してイベントを開催する

● 防災訓練に参加してもらう

● 子ども会と連携する

- ・ 子ども会と連携して若い世代とつながる

● 子育て世代とのつながりをつくる

● イベントを通じて「サポーター」の発掘をしたい

● ごみ集積所を利用した広報で町内会の「活動の見える化」

グループごとの意見・アイデア

「令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組み」については、若い世代を取り込むためにデジタル化が必要だと言った意見が挙げられました。具体的には、LINEやYouTubeの活用、電子回覧板を推進する、など情報発信の手法から役員の負担軽減が考えられました。また、子ども向けのイベントを開催し、子育て世代と繋がりを作ることや、イベントを通じてサポーターを発掘するなどの意見も挙げられました。

グループ1

- 子育て世代とコミュニケーションをとる
- 若い人たちに興味を持ってもらう
- 花壇の整備等を町内会主催で年2～3回行う

グループ2

- 若い世代との連携のために交流の機会が必要
- 夏祭りは地域の子どもが多く参加する
- 町内会のデジタル化が必要

グループ3

- 2週に一度は行事がある
- 月1回の公園清掃を行う
- 役員会に子ども会の役員を入れて連携を図っている

グループ4

- 芋煮会を開催し、多世代交流の機会をつくる
- 防災訓練をきっかけに多様な人を巻き込む
- 若い世代の参画に向けた運営のデジタル化が必要

グループ5

- 町内会活動の見える化で、ごみ集積所を綺麗にする
- 体操クラブ等の活動の宣伝（YouTubeにアップロードする）

グループ6

- 子育て世代が行事を手伝ってくれている
- 連絡は電話よりもSNSで行う方が良い
- 町内の夏祭りがあるので8月は盛り上がっている
- 小学校と一緒に運動会を開催することで多世代交流になる

グループ7

- 防災訓練は多世代で関心が高い
- 情報共有ツールとして電子回覧板や、LINEを利用していきたい
- デジタル化は高齢者へのサポートが必要

グループ8

- 高齢者の見守りは、周囲の住民が高齢者を気にかけることがスタート
- 若い世代の町内会加入を目的に、子ども向けイベントを考えたい

